

ハイチ大地震救援募金に感謝と報告

大館南ロータリークラブ

ハイチ大地震救援募金を多くの人が行き交う2月13日（土）・14日（日）の大館アメッコ市に合わせて行いました。募金総額は190,185円でした。皆様のご好意は国際ロータリー事務局を通じて全てを現地の人びと・子供たちに届けます。ご協力ありがとうございました。

ハイチ大震災被害に対して今私たちにできることは何か。計画したのが救援街頭募金でした。この行動は大館南ロータリークラブが音頭を取りましたが、大館ロータリークラブ、大館北ロータリークラブ、大館中央ロータリークラブの朋友クラブの協賛と秋田県立大館国際情報学院インターアクトクラブの協賛をもらいました。

当日は大町通りでの呼びかけにたくさんの人たちが応えてくれました。三～五歳程度の子供さんはお母さんからお金を受け取り募金箱に入れました。老若男女共々喜び顔で募金して下さいました。貯めていた缶や袋入りのままの募金もありました。募金をして下さった方へお礼に差し上げた葉に「家族・地域・地球に感謝 愛する人びとのために」「ハイチ大地震救援募金 ご協力いただきありがとうございます」と書きました。手違いでお渡しできなかった方にはお詫び申しあげます。大館のアメッコ市の「福」をハイチに届けるのだ、そのような思いで立ちました。

街頭募金を一緒に行った秋田県立大館国際情報学院インターアクトクラブは2005年に設立、大館市内4ロータリークラブが合同で指導監督に当たっています。インターアクトクラブ会員は15名、今回の街頭募金では、葉にリボンを結ぶ作業、明るい感覚の胸かけ看板作成、道行く人に若さ一杯にアピールするなど大活躍でした。ロータリークラブの年齢豊かな会員のみでの街頭立ちではこれほどたくさんの募金をいただけなかったかもしれません。

（文責：奉仕プロジェクト委員会委員長 工藤智教）

